

photopos 29

2016.8.7 ~ 2016.8.31

【神秘学ポエジー～風遊戯 第58集】

photo ヴァージョン

photopos701-725

神秘学遊戯団

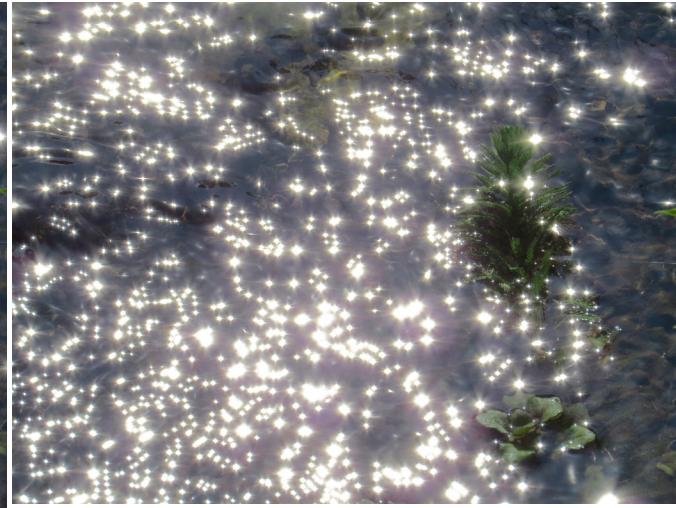
photopos-701
2016.8.7



だれかがぼくを
呼んでるような
そんな気がしたから

なつかしい声の響きで
ぼくのことを歌っている
そんな気がしたから

深呼吸をして
光を吸い込んでから
そっとふりむいてみたんだ



なくしたもの
忘れてしまったもの
会えなかったひと

そんなみんなが
光のように笑ってた
だからだいじょうぶ

きのうのぼくから
ちょっとだけ前へ
歩いてみようと思ったんだ

* 高知県日高村・めだか池にて

photopos-702
2016.8.8



夜の花のような
歌う星のような
包む掌のような

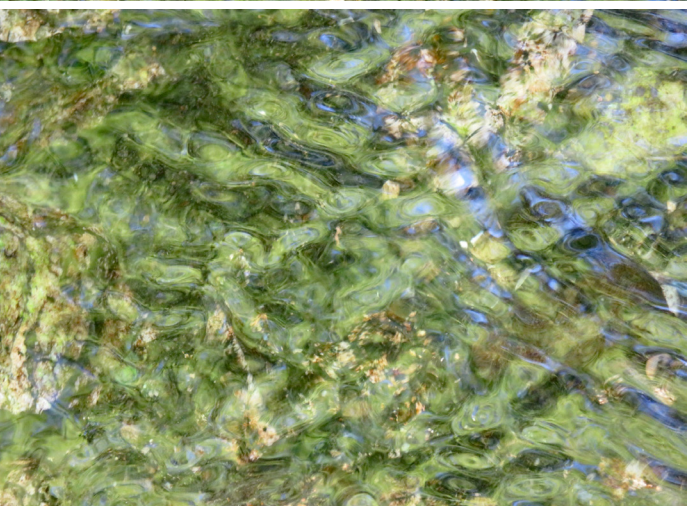
その物語は
どこから
やってきたのか

深く深く
魂の底から
懐かしく響き

ものはこころになり
こころはものになり

* 高知県日高村・めだか池にて

photopos-703
2016.8.9



変わること
変わらないこと
そのあいだで
ゆれる心が波紋を投げる

心変わりの言い訳
変わりたくない恐れ
それはほんとうは
おなじ心の音楽なのだろう

心という魔神は
さまざまな物語を纏いながら
巧妙に語りかけてくる
願いを叶えてあげようともいうように

* 高知市・牧野植物園にて

photopos-704
2016.8.10



楽しいときには
光ははじければいいのに
悲しいときには
光はふるえればいいのに

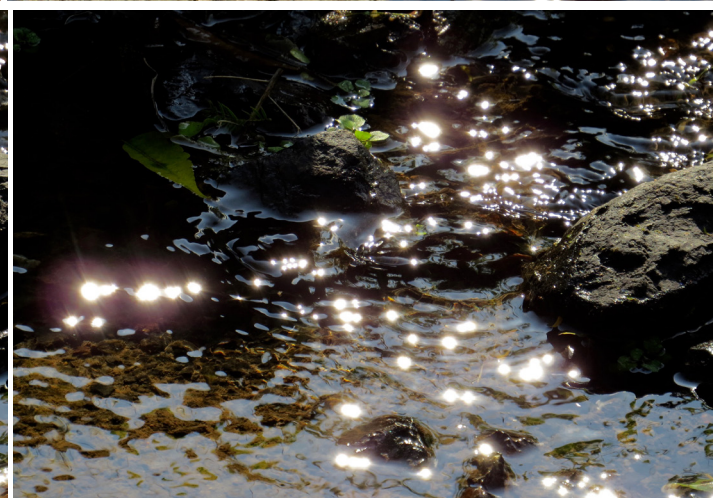
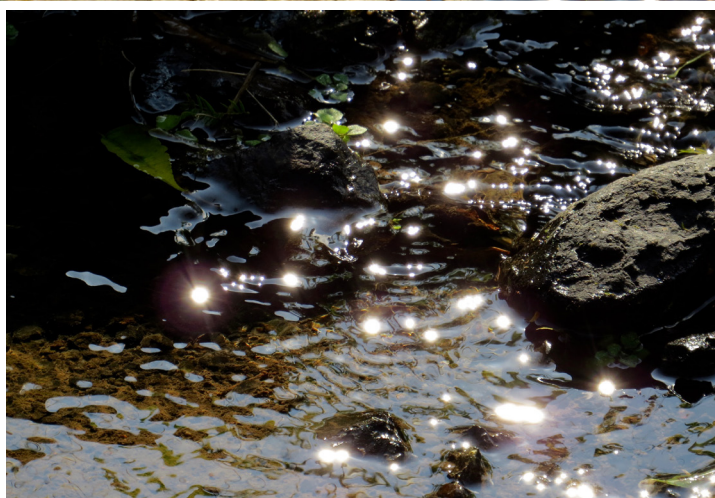
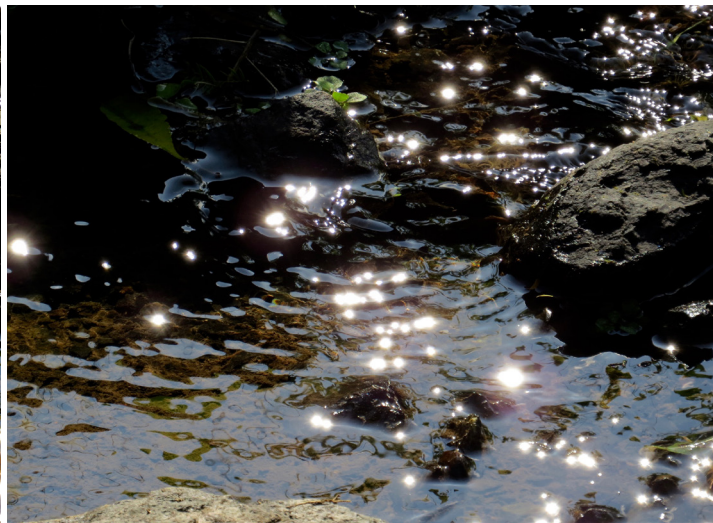
じっと閉じていたいとき
心は騒ぎはじめ
そよとそよぎたいときに
心は閉じて流れない

光を求めるのに
闇へと沈み
闇のなかではじめて
光を見つける

私が私であるとき
私は私から離れてゆき
私が私でないとき
私へと向かう不思議のなかで

* 高知市・牧野植物園にて

photopos-705
2016.8.11



* 高知県日高村・めだか池にて

光の子らよ
出ておいで

叡智の翼で
羽ばたいて
愛の地球に
出ておいで

無常の水は
たえまなく
流れ流れて
ゆくけれど

叡智は愛に
とけこんで
自由の種を
蒔いてゆく

光の子らよ
出ておいで
闇の中でも
光をはなち

photopos-706
2016.8.12



つかまえたと思ったとたん
するりと逃げていってしまう

不在の影とともに
どこにもないものを
探しつづけた夏の思い出

どれほどの痛みが
ぼくを育ててくれただろう
どれほどの悲しみが
ぼくを教えてくれただろう

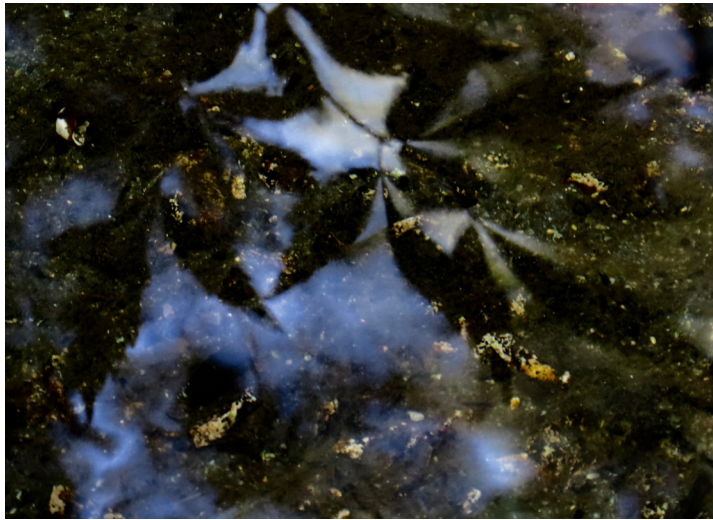


うつろいのなかでも
自分を偽らないで
叶わなくても
求めることをやめないで

夏の思い出の訪れとともに
どこかでじっと待ち続けていた
もうひとりのぼくが
しずかにぼくに語りかけてくる

* 高知県日高村・めだか池にて

photopos-707
2016.8.13



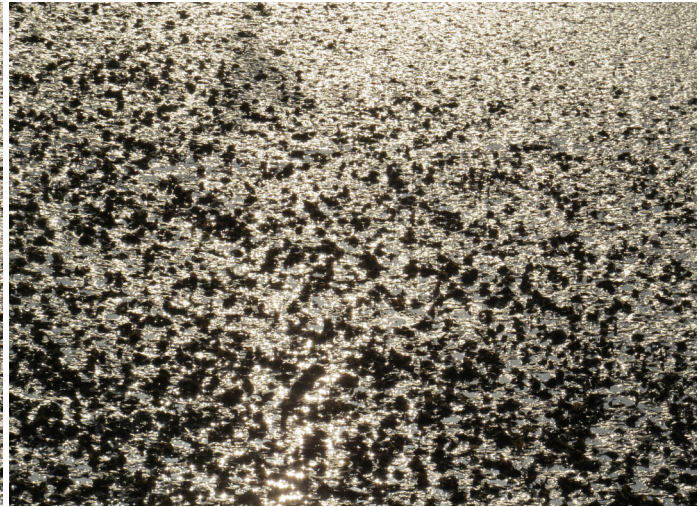
天の大河に
星は煌めく
永遠を旅する
魂は見えないか

心の鏡に
光と闇は散乱する
魂の奏でる
秘曲は聴こえないか



*高知市・牧野植物園にて

photopos-708
2016.8.14



光を見るために 光の外へ
闇を見るために 闇の外へ
私を見るために 私の外へ

見るために 目を閉じ
聴くために 耳を塞ぎ
話すために 口を閉じ



生きるために 死とともに
死するために 生とともに
永遠の中を 刹那とともに

* 高知県日高村・めだか池にて

photopos-709
2016.8.15



私が私であるためには
私はみずからを
閉じ込めていなければならない
私という結界の内へ

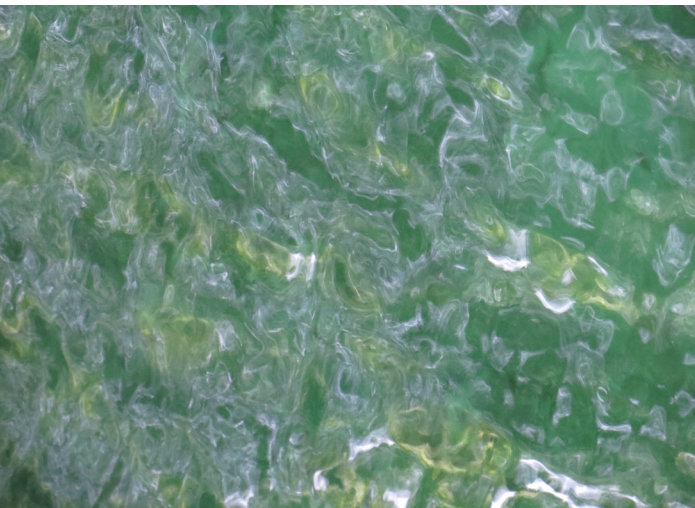
結界が開かれると
私でないはずのものが
私の内へと侵入してくる
私であるはずのものが
私の外へと脱してゆく



結界を超えるためには
もうひとりの私を育てなければならない
かぎりない時間の奥行きを旅するなかで
永遠を生きることができたとき
結界はおのずと開かれる

* 高知県仁淀川町・安居溪谷にて

photopos-710
2016.8.16



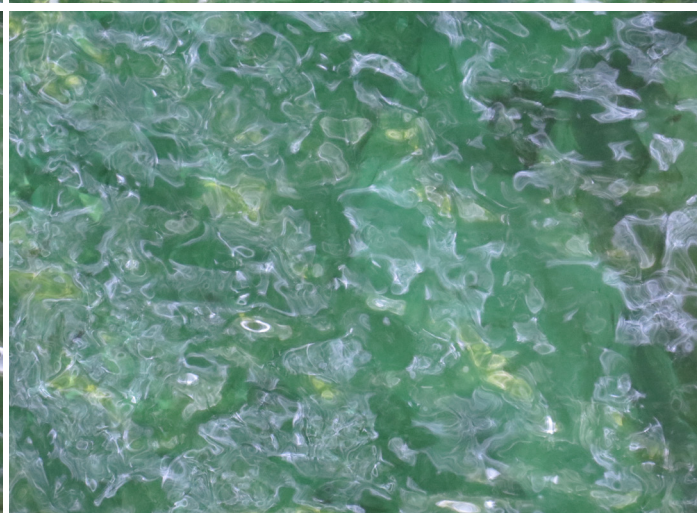
どこにもいない
どこにもいる

あわいをただよふ

いつでもいま
いつでもいつか

あわいをただよふ

だれでもない
だれでもわたし



あわいをただよふ

はじめのおわり
おわりのはじめ

あわいをただよふ

うつつにいない
ゆめにもいない

かがよふひかり
ただあわいをただよふ

* 高知県仁淀川町・安居溪谷にて

photopos-711
2016.8.17



迫り来る黄昏に
飛び立つのでは
遅すぎるだろう

過ぎ去るものは
郷愁の中を飛び
自らが見えない

見えないものと
来るべきものと
ともに翔ぶのだ

未知のコトバで
新たな智を愛し
そして翔ぶのだ

*高知県日高村・めだか池にて

photopos-712
2016.8.18



まだ見ぬ世界があり
いま生まれようとする世界があり
まだ見ぬわたしがいて
いま生まれようとする私がいる

苦しみを超えて
世界を超えようとする人あり
苦しみに降りて
世界を変えようとする人あり

世界の美しさというようなものはない
美しい世界があるばかりだ
人の美しさというようなものはない
美しい人がいるばかりだ

世界が真に人とともにあるとき
世界は美しい
人が真に世界とともにあるとき
人は美しい



* 高知県日高村・めだか池にて

photopos-713
2016.8.19

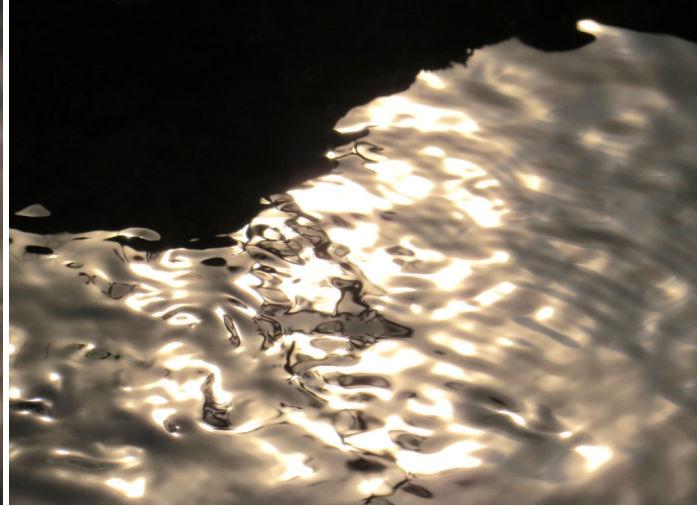


神雷神
山神川神
大地鳴動
心は天に
一霊四魂

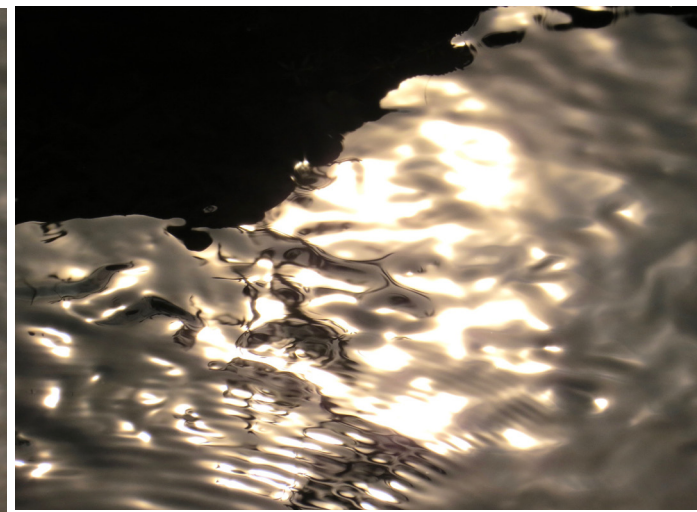
直霊よ統べよ
荒魂の勇
和魂の親
幸魂の愛
奇魂の智

* 高知県日高村・めだか池にて

photopos-714
2016.8.20



さめぬゆめなら
さめぬがよいか
ゆらめくところ
ほのめくひかり
ときのはざまの
かがみのおくに
うごめくすがた
ゆめのかがよい



* 高知県日高村・めだか池にて

photopos-715
2016.8.21



彼方からの声が
永遠からの笈が
訪れるものたち
郷愁の言霊携え
手を伸ばしても
届かぬ思い連れ
眼差しの向こう
忘れられぬ愛の
気まぐれのごと

* 高知県日高村・めだか池にて

photopos-716
2016.8.22



踊るは
仮面舞踏会

善の仮面と悪の仮面
どちらも仮面は嘘をつく

どんな姿で踊ろうと
見えない姿は見えている

言葉巧みに誘っても
そのほんとうは隠せない

踊るは
仮面舞踏会



笑顔の裏には苦しみが
道化の裏には悲しみが

どんな仮面で隠そうと
その魂は隠せない

踊るは
仮面舞踏会

仮面は鏡
内と外

我と汝の
秘密のキアスム

* 高知県日高村・めだか池にて

*キアスム：交差配列。メルロ＝ボンティの用語。見るものと見られるものが相互に可逆的に侵蝕し合っている状態。主体と客体の分離を乗り越えることが意図されている。

photopos-717
2016.8.23



少年は空を見ただろう
少年は風のなかを走っただろう
少年はなすすべもなく
悲しみのなかを歩いただけろう
そのときも碧いトンボは悠々と
少年のまわりを飛んでいたろう



そのときとなにがちがうのか
それともなにがおなじなのか
記憶なのか風景なのか
わからないままに
水面はただゆれている
空気の中にとけている心とともに

* 高知県四万十市・トンボ公園にて

photopos-718
2016.8.24



そんなの偶然さ
っていっても
偶然はどこからくるのかな

そうすべきだ！
っていっても
べきはどこからくるのかな



科学的であるべき
というべきも
どこからくるのかよくわからないし

見えていると思っけていても
なにが見えているかなんて
わかりやしないもんさ

*高知県日高村・めだか池にて

photopos-719
2016.8.25



見つけたよ
光の言の葉

話したよ
風のまにまに

踊ったよ
水の流れに

季節の息は
空と緑のあいだを
ゆっくりとめぐっています



* 高知市・牧野植物園にて

photopos-720
2016.8.26



謎の前に立ったとき
人は自分を試される
謎にふさわしいかどうか
それが問われているのだ

謎は言葉の迷路だから
謎を解くためには
言葉の迷路を抜けなければならない



言葉は人を縛るから
その縄を解くためには
言葉を解きほぐさなければならない

単純な言葉には真実があるけれど
その真実にたどりつくためには
長い試練が必要となる

* 高知市・牧野植物園にて

photopos-721
2016.8.27



なにを見てるの
なにを叫んでるの
なにを笑ってるの

生きてるのは
なんて不思議だろ
わたしでいるのは
なんて迷路ばかりだろ

天と地は遠く近く
永遠と今は遠く近く
わたしとあなたは遠く近く

* 四国カルストにて

photopos-722
2016.8.28



いないいないばあ

隠されていないけれど
見えていないところから
ささやいてくるものたち

いないいないばあ

響きわたっているけれど
気づかれていないところで
歌っているものたち



いないいないばあ

捧げつづけているけれど
だれもしらないところで
祈っているものたち

* 高知市・牧野植物園にて

photopos-723
2016.8.29



ひとつだけ願いを
叶えてあげよう

ほんとうは
すべての思いは
かなっているけれど
思いと願いは違うから

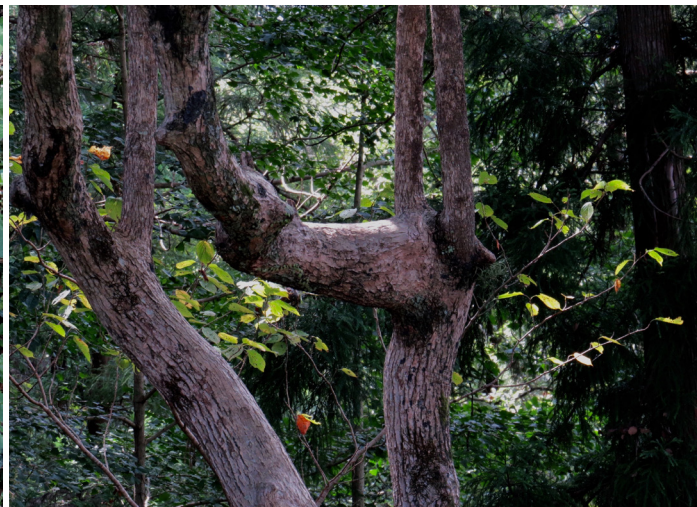
考えすぎると
思いに縛られてしまうよ

お星さまが
流れるときのように
ひとつだけ
いちばん大切なことを
思いに邪魔されないように

君が君であるための
いちばん大切な願いを
ひとつだけ

* 高知県四万十市・トンボ公園にて

photopos-724
2016.8.30



記憶の森には
魔物が棲むという

森をゆけば
そこはかぎりない迷路となる
耳をすませば
その声がきこえる

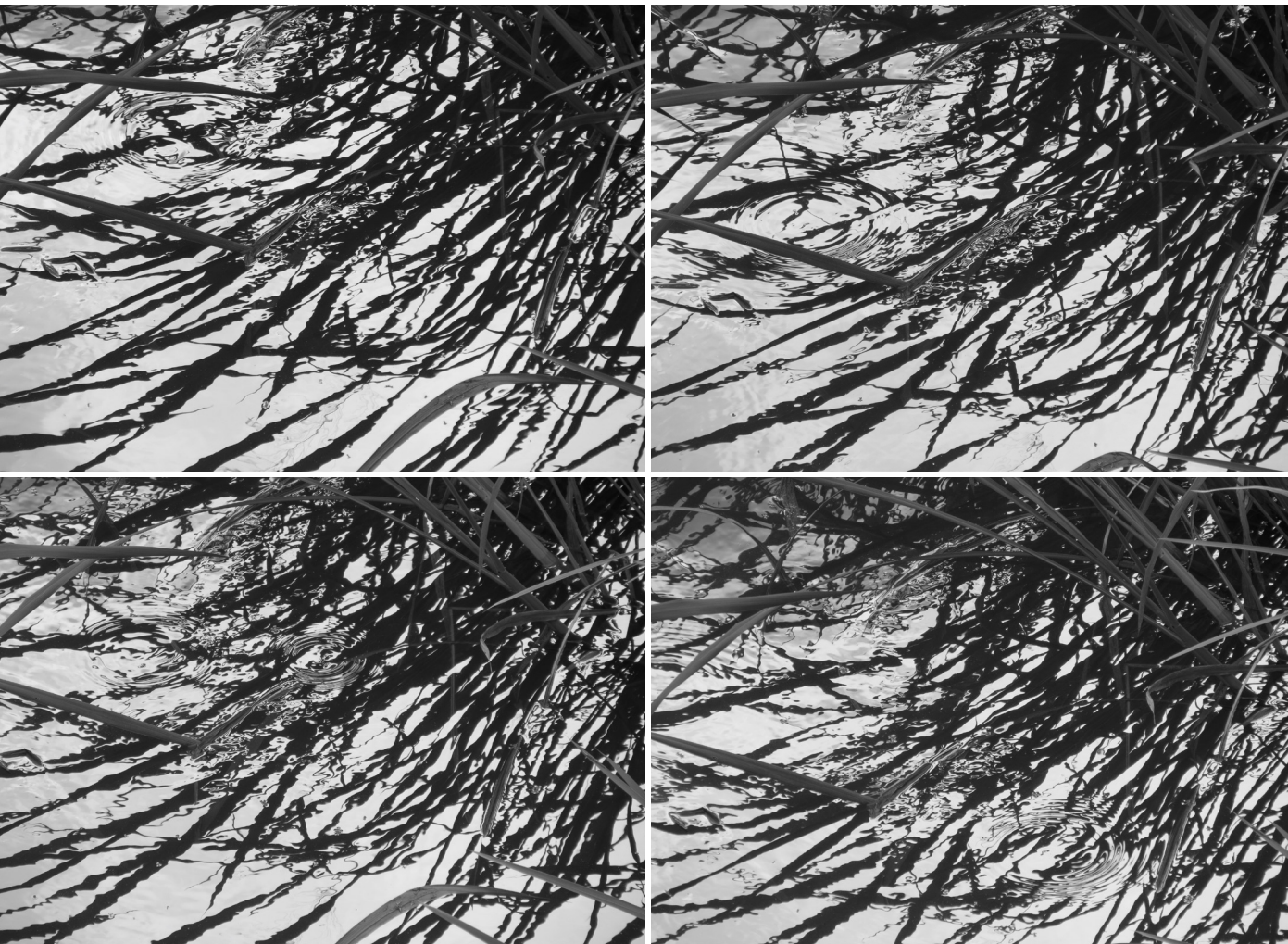
魔物たちは
かつてそれと知らずに
みずからが放った思いの姿
獣のように妖しのように
舞い踊るわが姿

記憶の森の魔物と
争ってはならない
鏡のなかのわが姿に
怯えてはならない

森をゆくには
みずからの光を掲げるがよい
影は踊るだろうが
魔物の姿をみずからの光で照らすことだ

* 高知県南国市・岡豊城跡にて

photopos-725
2016.8.31



変わろうとする思いと
変わりたくない思いの
せめぎあう波紋のなかを
心はさざめき
幻影は現れては消え

境域を超えようとする者よ
誘惑は幻影であると知れ
その水は足を絡め取ると知れ
その風は行方を示さぬと知れ
その火はみずからを焼くと知れ

* 高知県日高村・めだか池にて